

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社アーデン					
代表者名	氏名	古市 透	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県小諸市森山66-1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	調理食品、ソース調味料、菓子類のレトルトパウチ食品及び缶詰食品並びに総菜食品の設計、開発及び製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,160	2,115	2,282	1,918	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,981	4,900	5,276	4,434	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	3		3	3	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	6				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2021	年度
--------	------	----

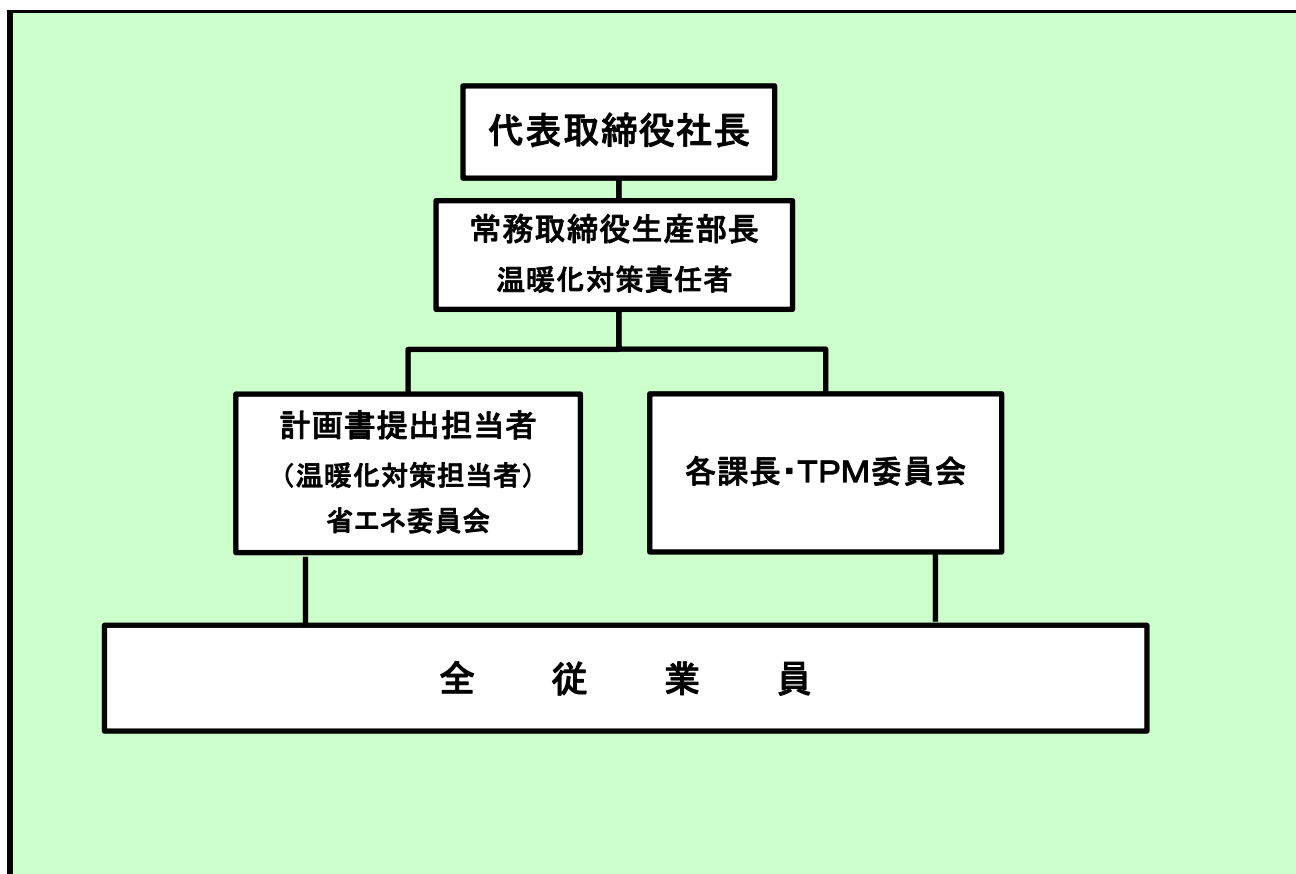
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所 : 長野県小諸市森山66-1 時間 : 8:00～17:00 担当部署 : 総務部総務課 連絡先 : 0267-22-1456
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ・ 具体的なエネルギー使用状況を把握し、エネルギー使用の合理化を図る。
- ・ TPMを充実させ、機器設備の保全に努め生産効率を向上させる。
- ・ エネルギーロスである箇所を検出し、改善策をとる。
- ・ 全従業員に省エネ意識を植え付けることで無駄なエネルギーの使用を抑える。
- ・ 設備更新の際は、よりエネルギー効率の高いものを選定する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ委員会 年12回

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,981	t-CO ₂	生産重量	16.61	単位	千t
2019年度	調整後排出量	4,981	t-CO ₂	基準原単位	299.88	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	4,900	t-CO ₂	目標原単位	290.28	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	1.62	%	目標削減率	3.20	%	
目標設定に関する説明	<p>今まで設備更新を重ねて温室効果ガスの削減に取り組んできたが、効率は高まっても生産量の増加がそれを上回り、削減率には反映できない実情があった。しかしながら、ここ数年の原単位の改善に見るように確実に効果は上がっている。この3年間の計画期間では、排出量で1.6%削減を、原単位では3.2%削減することを目標とする。</p>						
第一年度	排出量	5,276	t-CO ₂	生産重量	17.72	単位	千t
	削減率	-5.93	%	原単位	297.74	t-CO ₂ /	千t
2020年度	調整後排出量	5,276	t-CO ₂	原単位削減率	0.71	%	
	削減率	-5.93	%				
排出量等の増減理由	<p>コロナ禍の影響で生産受注が伸長し、予想外の工場稼働となった。設備更新を図りながら温室効果ガス排出削減に取り組んだが、使用エネルギー量の増加により排出量が増えてしまった。</p>						
第二年度	排出量	4,434	t-CO ₂	生産重量	14.82	単位	千t
	削減率	10.98	%	原単位	299.11	t-CO ₂ /	千t
2021年度	調整後排出量	4,434	t-CO ₂	原単位削減率	0.25	%	
	削減率	10.98	%				
排出量等の増減理由	<p>コロナ禍の影響で昨年は生産受注が伸長したが、その反動から2021年度は昨対16%もの受注量減となってしまった。当然ながら使用エネルギーが大幅に削減されたため、排出量は11%の減となったが、生産減とは比例していない。これは、生産の増減に係わらずユーティリティ部分の使用エネルギーが一定して存在し、現状その削減に取り組めていないためである。因って排出量減ながら、排出原単位は微増となった。</p>						
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	350604	効率的なデマンド制御	2020～ 2022	60	2020	60
2	エネ起	350604	デマンド契約の見直し	2021～ 2022	10	2020	3
3	エネ起	330203	排気ファンの休日回転数制御	2021～ 2022	3		
4	エネ起	320303	屋外冷凍冷蔵庫ドアのインター ロック化	2021～ 2022	2		
5	エネ起	330209	工場A棟のエアコン更新	2020～ 2022	8	2020	10
6	エネ起	360703	コンプレッサーの吐出圧低減	2021～ 2022	2	2021	2
7	エネ起	380752	工場全照明のLED化	2020～ 2022	8	2020	69
8	エネ起	120201	冷凍冷蔵庫冷凍機の更新	2021～ 2022	6		
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,981	1	5,276	1	4,434		
1,500k1未満								
合計	1	4,981	1	5,276	1	4,434		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	0	0		
合計	0	0	0	0
自動車総数	3	3	3	
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	遠方出張時は原則公共交通機関を利用。
自転車の利用促進	近距離通勤者への自転車通勤奨励。
来客者の交通対策	得意先への最寄り駅連絡。
物流の合理化	積載効率を図った配車手配。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	工場緑地の手入れ、産業廃棄物の削減		2020年度～

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> 工場緑地の手入れを行った。 排水設備脱水機を更新し、産業廃棄物の排出量を削減した。 工場から排出される廃棄物の分別を行い、有価物回収を進めた。
